

マーケットの動き (2024年3月18日～3月22日)

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。18～19日に開催された日銀金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除が決まりましたが、当面は緩和的な金融環境が維持されるとの見方から、日米金利差の開いた状態が続くと見込んだ円売り・米ドル買いが優勢となりました。ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルで下落しました。

投資環境見通し (2024年3月)

円に対して米ドルは下げに転じる可能性、ユーロはレンジ内での動き

米ドル：FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げの開始予想が後ずれしていますが、依然として年内に複数回の利下げ観測が残る中、日銀による緩和政策の修正が意識されることに加え、さらなる円安ドル高が進む場面では政府・日銀によるドル売り介入も意識されるとみられ、ドルが円に対して次第に下げに転じる可能性が高まってきているとみています。

ユーロ：域内景気の悪化が懸念されるもののECB（欧州中央銀行）が利下げに慎重との見方が広がる中、日銀による緩和政策の修正が意識される状況においても、ユーロは円に対して概ねレンジ内で推移するとみています。

	3月22日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	151.36	2.22	0.85	3.27	18.68
ユーロ/円	163.71	1.32	1.00	5.88	20.53

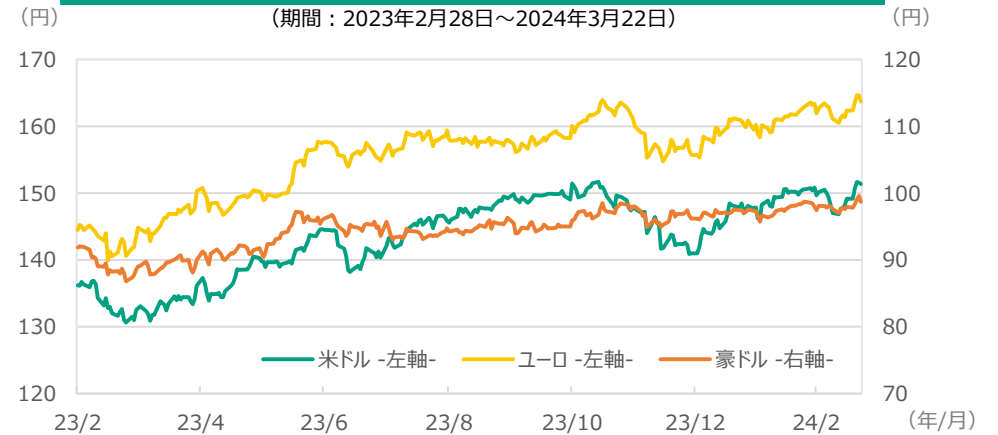
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

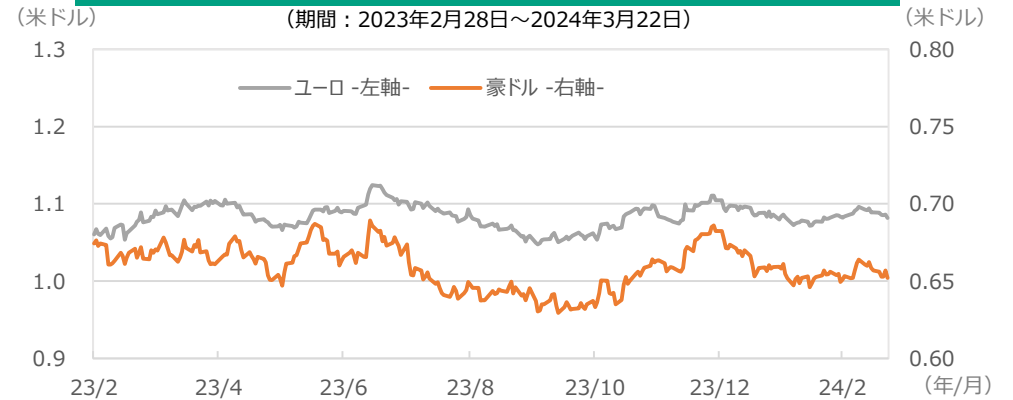
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202403_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移 (対日本円)



為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成